

公益財団法人
交通遺児育英会 ③

交通事故が減少傾向にある中で、依然として奨学金を必要とする奨学生は今年度で約1、400名が見込まれている。交通遺児の進学という夢の実現のために、今後も地道な支援要請活動が続けていくとする交通遺児育英会の究極の目標は「奨学金制度が不必要な世の中」の実現だ。交通遺児への支援活動を推進しながら、全国交通安全運動に協賛団体として参画するなど交通事故を減らす活動にも力を入れている。毎夏8月25日に福岡市で開催されている

「奨学金制度が不必要な世の中」実現へ



飲酒運転の撲滅を訴えるキヤンペーンに昨年から参加

しているが、今年も、交通遺児育英会の活動概要を説明しながら支援の輪を広げる活動を行った。また、タクシー会社の乗務員講習会

写真Ⅱで育英会事業を紹介するとともに、交通事故被害家庭の母親および遺児が体験を話し、安全運転の大切さを訴えた。今後も悲慘な交通事故の減少、交通遺児ゼロをめざし積極的な活動を行っていくとしていく。(おわり)

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。